

高校生就職内定率90・9%

文科省調査 昨年末時点、本県は95%

今春卒業予定で就職を希望する高校生の2022年12月末時点の就職内定率は90・9%だったことが17日、文科省の調査で分かった。21年同時点より0・5%減った。文科省の担当者は「年末に新型コロナウイルスの感染が拡大し、採用活動が遅れたことが影響した」と分析した。調査は、全国の国公私立高

により観光業や宿泊業で採用意欲が高まり、納得するまで就職活動を続ける高校生が増えている傾向も見られる。

都道府県別で最も高いのは富山の97・8%。次いで三重96・6%、佐賀96・2%となった。本県は95・0%だった。沖縄67・9%、神奈川81・1%が低かった。

を卒業予定の97万1396人のうち、就職を希望する13万7685人を対象に実施。内定者は12万5171人となった。男女別では男子が91・7%、女子は89・5%だった。学科別では工業が96・2%で最も高く、商業94・0%、農業93・5%が続いた。文科省によると、行動制限の緩和